

JUNBA2013 Summit

世界で活躍する人材育成～本学の取り組み

早稲田大学

副総長 内田 勝一



早稲田大学
WASEDA University

2013.1.12

1. 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業(G30)

➤採択数:13件(申請22件)

➤実施期間:5年間(2010年度-2014年度)

➤本学におけるこれまでの取り組みと効果:

英語による授業のみで学位が取得できるコースの増設

2008年度:1学部4研究科 → 2012年度:6学部10研究科(入学者数合計1,242名)

⇒国際競争力向上

外国人学生数の増加

2007年度:2,951名 → 2012年度:4,331名 47%増 ⇒日本人学生、教員の意識の変化

海外への派遣留学生の増加

2008年度:1,173名 → 2011年度:1,828名 56%増 ⇒グローバル人材の育成

外国人教員の積極的採用

外国人教員比率:2008年度 8.6%(538名/6,221名) → 2012年度 12.2%(610名/6,424名)

⇒教育の活性化、海外との共同研究の増加

教育体制の充実(ファカルティ ディベロップメント実施)

2008年度-2012年度 米国内協定校派遣FD参加者合計:55名、1日FD参加者:46名

⇒授業の質向上

海外共同事務所(独・ボン)の有効利用

⇒留学フェアによる日本の大学のプレゼンスの向上、大学間の交流促進・情報共有

2. 平成23年度 大学の世界展開力強化事業

タイプB(米国大学等との協働教育の創成支援)

- 採択数:7件(申請49件)
- 事業名:早稲田大学グローバル・リーダーシップ・プログラム
- 実施期間:5年間(2011年度-2015年度)
- 事業概要: UC Berkeley, U. of Washington (Seattle), Columbia U. , Georgetown U. , U Pennとの協働教育による日米両国の学生を対象としたプログラム

		グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラム (1年あたり10-15名)	グローバル・リーダーシップ学 (全学部生)
1年次	入門教育	全学共通副専攻「グローバル・リーダーシップ学」の科目を英語で受講。	
	選考	グローバル・リーダーシップ・フェローズ・プログラムに参加する10-15名を選考。	全学共通副専攻「グローバル・リーダーシップ学」において、日米、また西欧・アジア諸国に関する講義を英語で受講。基礎知識を習得。 本学・米国校の教員による特別科目等の開講を予定。
2年次	導入教育	英語による派遣準備コースや留学準備講座で必要スキルを習得。	
	海外留学	通常の交換留学と異なり、リーダーシップ論の講義等も受講。他社会に密着したボランティア活動にも参加。	
3年次	帰国後カリキュラム	米国相手校からの留学生と共に日米共同ゼミ参加する他、フィールドトリップを実施。パートナー校教員によるチームティーチングも予定。	
4年次	修了論文	国際会議で研究成果を発表。英語による修了論文執筆。	
卒業		国際社会をけん引するグローバル・リーダーへ	リーダーシップの素養を身につけ社会へ

★米国学生に対しても、所属大学でのリーダーシップ教育や本学への留学時の日米共同ゼミを通して、グローバル・リーダーへと育成する。

3. グローバル人材育成推進事業 (タイプA: 全学推進型)

- 採択数: 11件(申請41件)
- 実施期間: 5年間(2012年度-2016年度)
- 事業概要: ・すべての学生が、グローバルな視点を持って、“Global-Regional-National-Local”のどの場においても課題解決に貢献するための人材育成プログラム

【叡智】

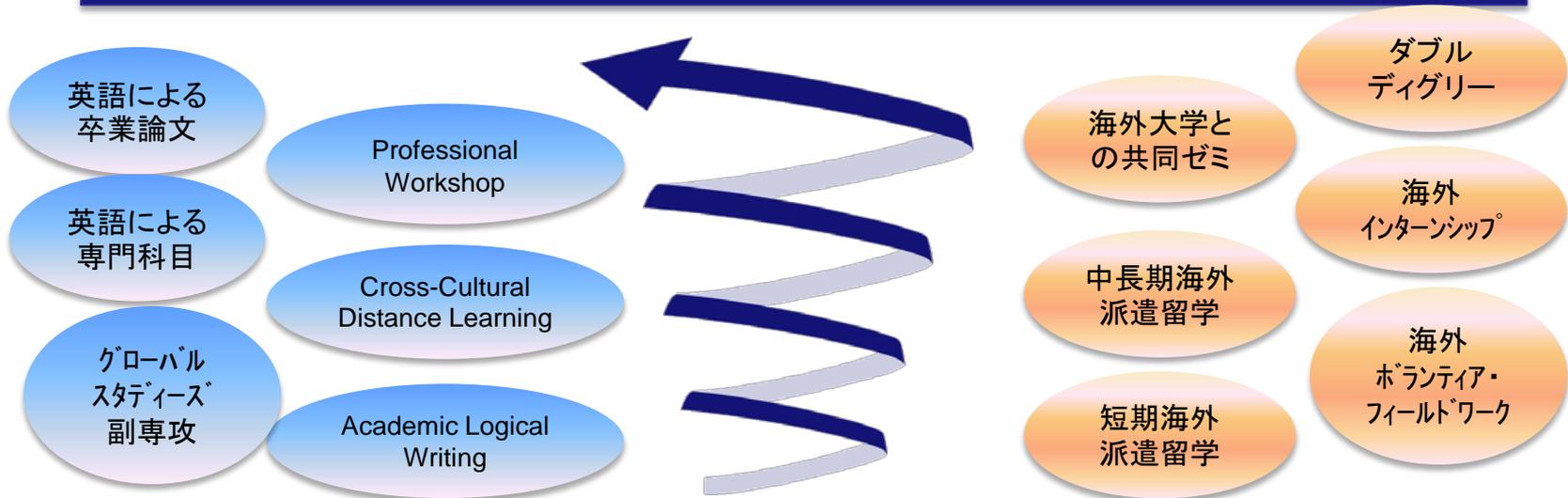
+

【志】

+

【実行力】

知識と実践の学びのスパイラル



グローバルキャンパスの学習・生活環境

受入留学生8,000名

日本人・留学生混住寮

留学生との協働ボランティア

グローバル・アカデミック・フォーラム

ランゲージ&カルチャー・エクスチェンジ